

2019年 12月 26日

## 助成事業実施報告書

団体名 社会福祉法人 大阪児童福祉事業協会  
代表者・役職名 氏名 理事・ホーム長 藤川 栄治

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

自立援助ホーム「ホームそらまめmitejima」 ホーム舎内児童居室、改修及び補修による住環境整備事業

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。 会員数など。180文字程度まで)

当法人は、昭和39年に創設され、「すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない。すべての児童は、人としてその生活を保障され愛護されなければならない。」と謳われている児童福祉法の理念の責務を果たすべく、児童養護施設、児童の福祉の増進について相談に応ずる事業、児童自立生活援助事業等を運営し、青少年一人ひとりをかけがえのない存在として支援しています。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当ホームでは、一人で過ごす個別の時間をゆっくり安心して過ごせる居室は就労自立をする上で重要であると考えます。しかし現在は居室の老朽化がひどく、不衛生になったり、危険な場所もあります。子ども達が安全に過ごせ、自尊感情を高め、就労自立を目指す日々の生活を継続する上で、改修、補修工事は急ぐ必要があります。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

当ホームでは、毎月最低一度は部屋点検を行い、清掃方法も指導し、年末には居室はもちろん、みんなでキッチンやリビング、トイレ、お風呂等共有スペースの大掃除を行うと共に、職員が子ども達に日頃から住環境の重要性を意識させる為に、共有スペースや自分の居室を大切に使用するように指導をしています。しかし、この度の居室については普段の掃除では補いきれない老朽化による環境の悪化が目立つようになってきたので、畳とじゅうたんの部屋を床上げして、それぞれフローリングに改修し、壁面の補修工事をしたいと考えております。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

この度の改修工事により、安全面や環境衛生面が整い、子ども達もきれいになった居室を今まで以上に大切に使用しています。積極的に掃除をしたり、扉の開閉や家具等の使用も丁寧になりました。一人でリラックスできる部屋があることで、子ども達は心身共に安定して、就労意欲の向上につながっていると日々実感しています。きれいになった居室で子ども達が元気で過ごせていることで自立への意欲も上がり、おかげ様で年内に新しい居室で過ごせる事ができたので、さらに施設全体の大きな活力になってきています。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

当ホームを開所してから、今まで子どもたちの住環境を大切に考え、施設運営してきました。この度の改修工事で子ども達の居室もきれいになり、きれいな状態を維持できるように子どもたちの意識も上がり、住環境の大切さや自立生活での整理整頓の仕方を指導していきます。きれいな居室はとても居心地が良く、子どもたちも大変喜んでいます。きれいな居室で一人の時間を過ごせることは、虐待の傷の癒しにもなり、精神的に落ち着くことができ、子どもたちの就労継続にさらにつながっていると実感しています。これからも子ども達の自立支援に職員一同、努めてまいります。ご支援いただきありがとうございました。

### 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

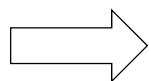
参考資料あり • 特になし

## 2 階

改 裝 前



改 裝 後

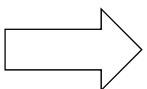


## 3 階

改 裝 前



改 裝 後



# そらまめ通信 ホーム便り

第19号 令和2年 8月発行



自立  
援助 ホームそらまめの  
子どもたちを支える会

そらまめ会

社会福祉法人 大阪児童福祉事業協会  
アフターケア事業部

「そらまめ会事務局」

〒 543-0021 大阪府大阪市天王寺区東高津町12-10

大阪市立社会福祉センター309

TEL: 06-6765-3400 FAX: 06-6765-3402

E-mail : info@soramamail.or.jp

## コロナ禍いつ終息するの？って聞かれてもなあ ホーム長 藤川 栄治

平成17年4月にホームそらまめが開所し15年の歳月が経ちました。その間男子106名、女子98名と、総勢204名の子ども達と生活を共に過ごして、嬉しかった事、残念だった事、悲しかった事……様々な出来事がありました。昨年は初めて入所児全員が高校生でした。

私はホームでは「パパさん」と呼ばれ、文字通り父親としてホームの子どもたちを守り抜かなければならぬ立場です。民間人として社会人経験の長い私は、大抵の事には驚かないし、動じない自信もあります。しかし、この度の新型コロナウィルス禍では、先が予測出来ないので、得体の知れない不安を感じています。皆さんそうである様に、初めての経験なので不安があるのは当然としても、とにかく子ども達や職員を守る為に、出来る限りの感染予防対策は、していました。

そんな矢先4月1日に17歳の男子A君が、コンビニでのアルバイト就労からホームに帰宅後すぐに「パパさん！僕の行っているコンビニで一緒に仕事をしている先輩店員が、さっき、昨日から味覚がなく、身体もしんどい…と言いましたので、店長から2週間の自宅待機と言われたんです。もしこの先輩店員がコロナに感染していたら、僕って濃厚接触者になりますか？」 「えー(@\_@;)まずは検温しよう。よし！36度5分の平熱だ。とにかく自分の部屋でおとなしくしていなさい」正直少し焦りました。今でこそ行政から『児童養護施設等において新型コロナウィルス感染症が発生した場合等の対応について』等の文書が出ているが、その頃はまだ出ていなかったので、すぐに児童相談所の保健師の指導の元で対応を相談し、2週間はホームの自室で過ごす。いつもは他児と楽しく夕食を摂っているが一人で食事をする。毎日検温、消毒、マスク等々。スタッフは緊張して対応していました。しかし、他の子ども達は学校も休みで、アルバイトの就労日数も少なくなっているのもあって、ゲームや漫画本を読み、日々リラックスしてホームのリビングで過ごしていました。さて2週間後、A君は熱が上がることもなく、普通の生活に戻りましたが、コンビニの先輩店員は、PCR検査を受けていないらしく、コロナ疑惑のままで終わってしまいました。その後、別の男子も職場でコロナ感染疑惑社員が出たようですが、同様の対応をして2週間後、彼も大丈夫でした。

今年はホーム開所以来、毎年行われていた5月連休中のバーベキュー大会も、中止にしました。残念だが、終息するまでは皆で辛抱しよう！頑張ろうね！と自粛期間を過ごさせていましたが、ある女子から「パパさん！コロナ禍いつ収束するの？」と聞かれて、『僕が聞きたいわ…』と言えず、ただ苦笑いしか出来なかった。ワクチンが早く開発されるのを願うばかりです。

16年前の開所式に植樹した枝垂れ桜の満開の桜を見ながら、入所児も、退所自立した子も、スタッフも皆で焼肉をほおばりながら、大笑いする日が心から待ち遠しいです。



## そらまめ基金のお知らせ

盛夏の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、そらまめ基金につきましては、多くの方々に会費納入をご継続頂き、ご理解とご賛同、大変なご協力を頂きましたこと、深く感謝しております。今年度も入所児童の生活が軌道にのるまでのホーム費、生活費の支援又貸付金として活用させて頂いております。今後ともご支援、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

令和元年度 納入会員 85名（令和2年3月末現在）

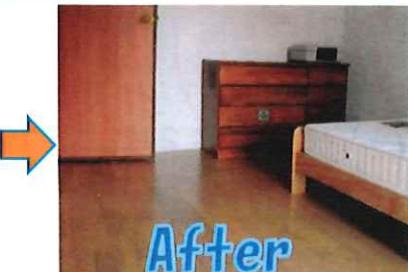
そらまめ会会長 佐藤 道章

真如苑 様よりご助成いただき、  
子どもたちのお部屋をリニューアルしました！

令和元年10月



Before



After

畳のお部屋と絨毯のお部屋があり、どちらも古くなっていましたので2部屋ともフローリングに改修し、汚れていた壁面の補修工事も同時にリフォームしたのでとてもきれいになりました。子どもたちも大喜びして汚さないようにと、今まであまりしなかった掃除を積極的にしたり、扉の開閉や家具の使用も丁寧になり、何故か以前より落ついた顔つきになっています。住環境は大変ですね！！ありがとうございました！！

大盛況♪ 令和元年12月22日（日）

## おもちつき大会



ホームの子ども達やスタッフに加え、支援者の弁護士さん達や、そらまめから自立した子ども達も参加しました。全員で37人集まり、皆でつきたてのおもちを食べ、たくさんお喋りをして、お腹も心も大満足！

最後は伊山理事長の先導で「大阪打ち」の手拍子でしめ、笑顔あふれる一日でした。

## 大盛り上がりの誕生日パーティー♪

1月 3月 5月 7月 8月 9月

ホームでは子どもたちの誕生日に、必ずみんなでお誕生日パーティーをします！みんなで♪♪「ハッピーバースデー○○さん～」と熱唱し、本人がろうそくの火を吹き消し、ホールケーキをみんなで食べます。

そして、誕生日の子は、今後の目標を発表します。子どもたちから笑顔が溢れ出て、みんなで食べるケーキは格別美味しい！と思い出に残るひとときです。



祝 そらまめ boys なでしこ girls 専門学校入学おめでとう！

令和2年4月

ホームに入所した時から「夢は柔道整復師になる事！」と言い続け、専門学校進学を決意していたGさん。夢に向かって突き進んでいます！！

ホームでは専門学生の第一号になるGさんは、新型コロナウイルスの影響で残念ながら入学式は中止でしたが、現在は対面授業もスタートして、やる気モード全開です！

勉強もアルバイトも頑張っているGさんを、ホーム長やスタッフは全員で応援しています。



3年間  
しっかり学んで  
夢を叶えます！

## そらまめから自立。さて、1年後。..

令和2年6月

ホームで4年間生活し200万円も貯金して20歳になり自立したKさん。自立生活と仕事の両立の大変さを実感しながらの生活の中、ストレスで無駄遣いをしたので1年後の今では貯金もどんどん減り、心細い毎日を過ごしていました。

そんな時、ホーム長が差し入れのメールをすると、「すぐに取りに行きます！」といつも以上に早く返信がありました。まともに食事を摂っていない為か、やせたKさんを見てスタッフ全員心配しています。

ホーム入所時から働いている職場で継続して頑張っているので、なんとか生活も安定してくれれば・・・とホーム長は見守り続けています。



ホーム長からもらった  
救いのカップ麺！！  
毎日食べて  
頑張っています！